

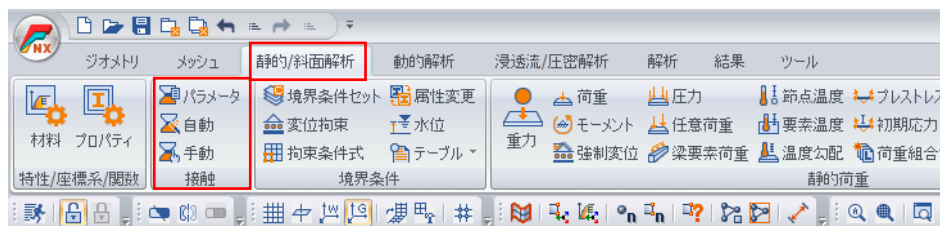
# 接触要素

# 接触要素

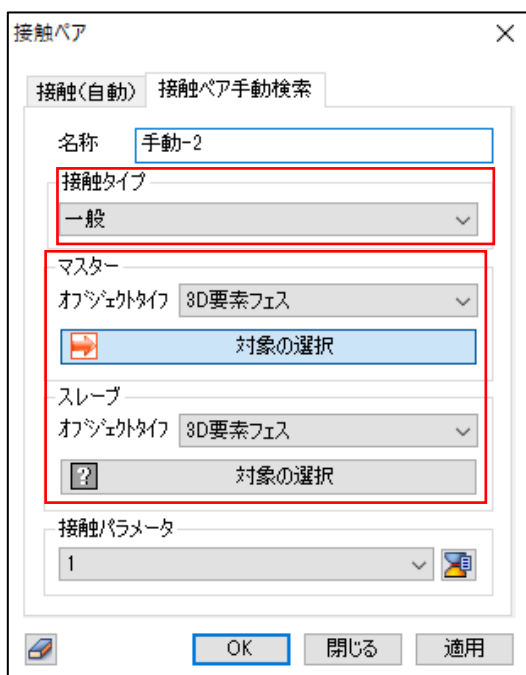
## 目次

1. 接触要素について
2. 接触要素設定

# 01. 接触要素について

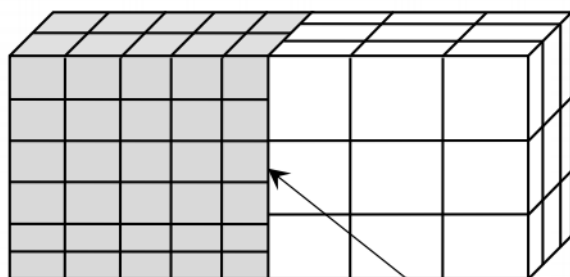
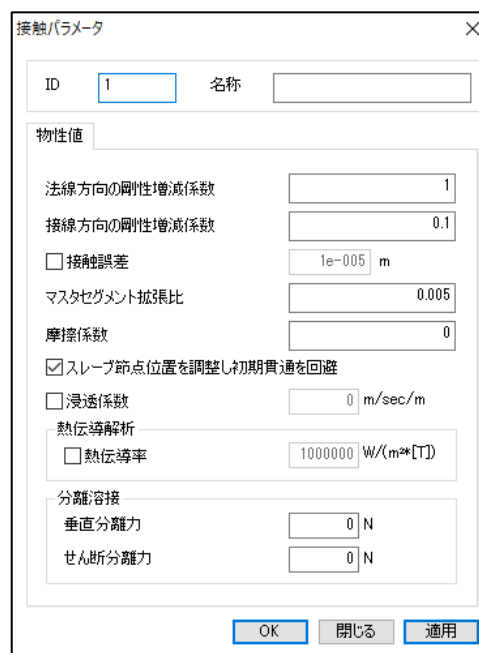


接触解析(contact analysis)は、空間上の二つの物体が互いに触れ合うことはできるが、貫通できない条件(non-penetration condition)を基本仮定とし、物理的な観点から非線形挙動/条件に該当する。接触の種類は、物体間の衝突および衝突時の摩擦を考慮して解析する一般接触(general contact)、滑りを反映しない滑りなし(ラフ)接触(rough contact)、解析初期に物体同士が接着されて解析が進行する溶接(接着)接触(welded contact)、そして接線方向の滑りだけを考慮する滑り接触(sliding contact)などがある。このうち溶接接触と滑り接触は、物体間の解析初期位置に応じて条件が付加されるもので線形条件とみなすことができる。



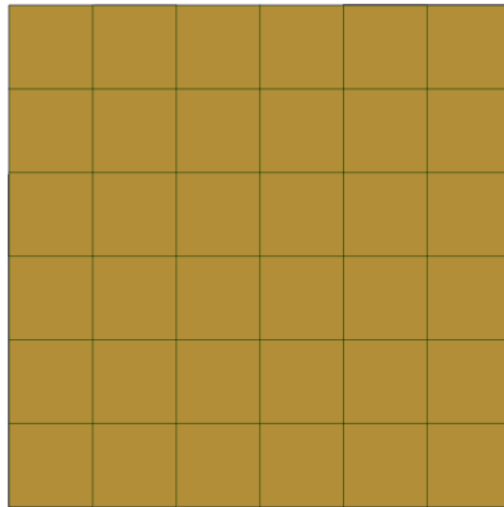
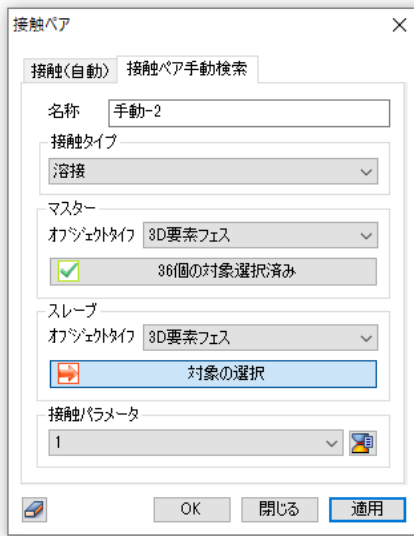
接触タイプを選択し、マスター側とスレーブ側の面を選択して設定します。

接触要素のパラメータは基本的デフォルトの状態、物体間の摩擦係数を入力して設定します。

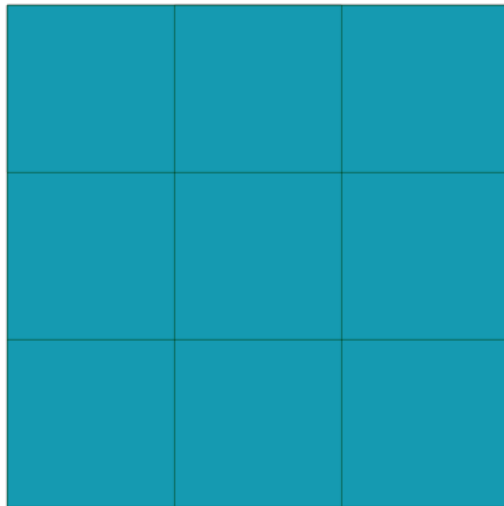
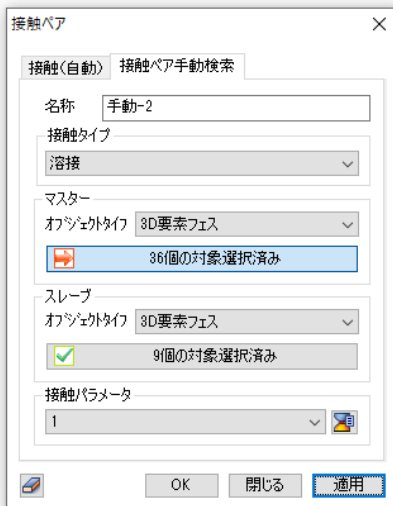


Welded contact

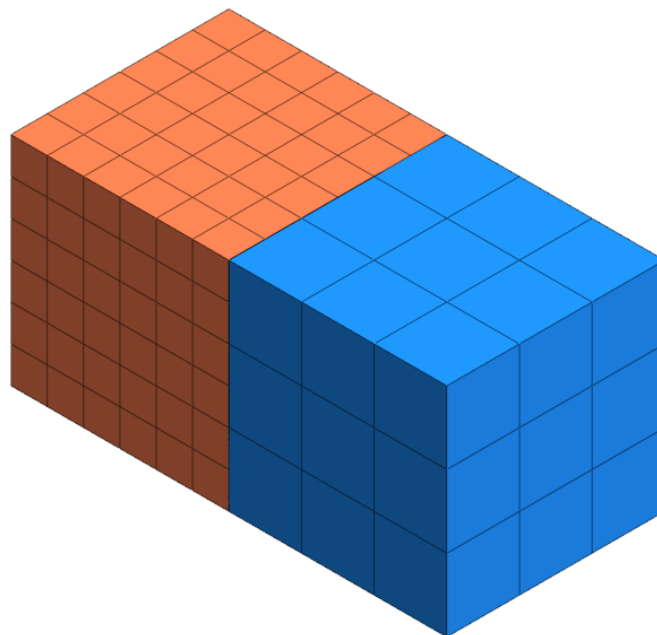
## 02. 接触要素設定



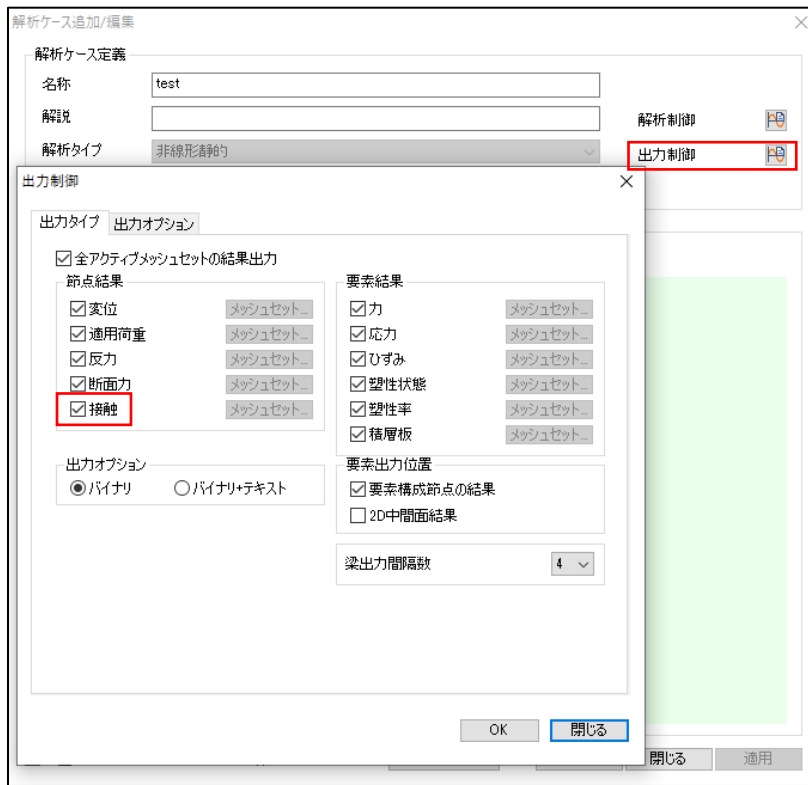
マスター側



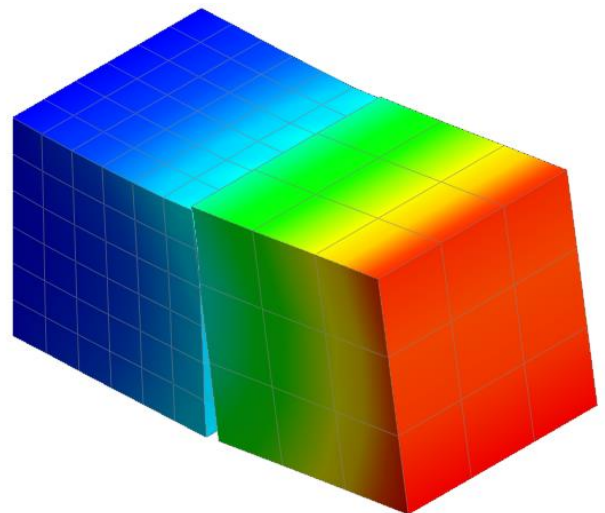
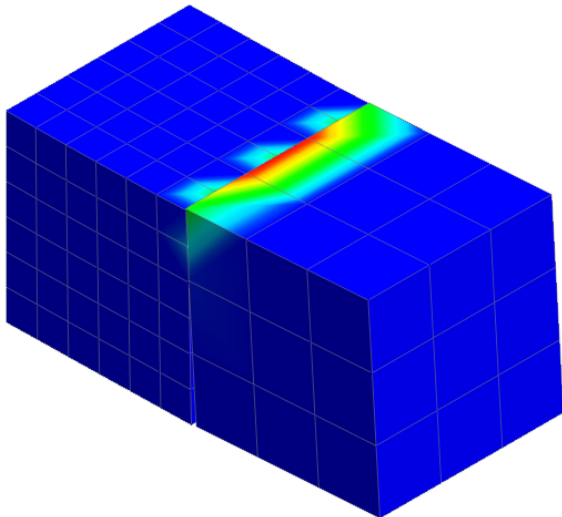
スレーブ側



## 02. 接触要素設定



接触要素の結果を確認したい場合は、解析ケースの出力制御からチェックが必要です。後、接触要素を使用する場合は非線形解析になります。



# FEA NX

株式会社マイダスアイティジャパン

〒101-0021 東京都千代田区外神田5-3-1 秋葉原OSビル7F

TEL 03-5817-0787 | e-Mail [g.support@midasit.com](mailto:g.support@midasit.com) | URL <https://www.midasuser.com/jp/>